

令和4年度法務省委託事業
「ハンセン病問題に関する『親と子のシンポジウム』」
企画概要

- 1 日 時： 令和4年7月30日（土）
午後1時30分～午後4時00分（150分）
（開場 午前12時30分）
※予定
- 2 形 式： オンライン（リアルタイム／アーカイブ）配信
※配信会場は岡山市内を予定
- 3 目 的： ハンセン病問題に関する正しい知識と理解は、いまだ十分とはいえず、ハンセン病患者・元患者やその家族に対する偏見・差別は、今なお社会に根深く残っている。それにもかかわらず、我々は、このコロナ禍において、新たな感染症に対する思い込みや不安から生じる偏見・差別の問題に直面している。
そこで、ハンセン病問題に関わってこられた方々や当事者の方々の声を聴き、ハンセン病問題を決して風化させることなく、その正しい知識と理解を次の世代を担う人々に伝えていくとともに、同じ過ちを繰り返すことなく、偏見・差別のない社会を実現するためにはどうしたらよいか、親子で考えていくためのシンポジウムを開催する。
- 4 対象者： 一般市民（事前申込不要、参加無料）
- 5 主 催： 法務省、厚生労働省、文部科学省、全国人権擁護委員連合会、岡山地方法務局、岡山県人権擁護委員連合会、公益財団法人人権教育啓発推進センター
- 6 後 援： 中小企業庁、全国ハンセン病療養所入所者協議会、ハンセン病違憲国家賠償訴訟全国原告団協議会、ハンセン病家族訴訟原告団、岡山県、岡山県教育委員会、岡山市、岡山市教育委員会、瀬戸内市、瀬戸内市教育委員会、岡山県市長会、岡山県町村会、山陽新聞社、NHK岡山放送局、RSK山陽放送、OHK岡山放送、テレビせとうち、読売新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社、日本経済新聞社、日本財団（順不同、予定）
- 7 内 容： ※予定
【第1部】
 - 動画上映
 - 基調講演
 - パネルディスカッション ※オンラインも想定【第2部】
 - ビデオメッセージ（全療協、全原協、元患者家族）※各10分程度